

鹿児島県屋久島沖における米軍 CV 22 オスプレイ 墜落事故に関する抗議決議

去る 11 月 29 日午後 2 時 50 分頃、米空軍横田基地所属の CV 22 オスプレイが鹿児島県屋久島沖の海上に墜落し、国内で初めて搭乗員 8 名全員が死亡するという誠に痛ましい事故が発生した。

同機は、東京都横田基地から山口県岩国基地を經由し嘉手納基地に向かっている途中で墜落したものであり、この墜落事故は一步間違えば住民を巻き込む大惨事につながりかねない重大なものである。CV 22 オスプレイの嘉手納基地への飛来については、令和 4 年に 13 機、令和 5 年は 11 月 1 日までに 22 機が確認されており、同機種による事故の危険性は沖縄県にも及んでいるものである。今回の事故は日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている沖縄県民はもとより、日本国民に大きな不安と恐怖を与えるものであり、極めて遺憾である。

垂直離着陸機オスプレイに関しては、近年においても名護市安部海岸をはじめ、ノルウェー、米国カリフォルニア州、豪州洋上など各地において墜落事故等を繰り返している。また、機体の不具合に伴う沖縄県内及び県外の空港への緊急着陸も相次ぐなど、もはやオスプレイは安全な航空機とは言い難いものである。さらには、今回の事故の翌日にもかかわらず県内において MV 22 オスプレイの飛行が複数回確認されるなど、米軍の管理運用体制に対する県民の不安と不信は増大する一方である。

本市議会は、これまでも米軍による事故等に関し、再三にわたり米軍及び関係機関に対して事故原因の究明や再発防止策を徹底するよう要請を行ってきたにもかかわらず、事故が後を絶たない現状は誠に遺憾であり、米軍の安全管理体制の不備を強く指摘するものである。

よって、本市議会は、県民の生命・財産を守る立場から、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 国内全てのオスプレイの配備を撤回すること。
 2. 事故原因及び再発防止策の内容について速やかに公表するとともに、在沖米軍の全航空機の総点検を行うこと。
 3. 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 以上、決議する。

令和 5 年 12 月 12 日
沖 縄 市 議 会

宛 先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官

第 3 海兵遠征軍司令官 在沖米国総領事 在沖米空軍第 18 航空団司令官